資料５

豊岡市立竹野学園

小中一貫した教育課程「たけの未来づくり科」の取組

１「竹野の活性化」の担い手を育てる９年間の学び

「ふるさと」を題材に、地域の人や企業等とともに学習を展開し、「ふるさと」の魅力や課題を認識するとともに、「竹野の活性化」に主体的に関わろうとする態度とよりよく問題を解決する資質や能力を育む

(1) 学習材　「ふるさと」とつながる自然、文化、歴史、産業、人等を教材として位置付ける

(2) 学び方　各教科で学習したことを活用した「探究的な学習」とする

「探究的な学習」の流れ

○課題設定	自分なりに日常生活や社会に目を向け、**地域の中から**問題を探す
○情報収集 ○整理・分析	地域の人材、企業等とともに学びを展開する
○まとめ・発表	学校だけではなく、地域や企業等に向けても成果を発表する

＊１～９年生まで、ＳＴＥＡＭ教育の視点を学習活動に取り入れる。

○コミュニケーション教育…言語表現、身体表現等

○ＩＣＴの効果的な活用…他者参照（ロイロノート等の活用）

課題解決や情報発信（ＳＮＳ、Youtube 等の活用）

○英語教育…英語で学習内容を情報発信、観光客とコミュニケーション、等。

２　STEAM 教育の捉え方

(1) 文理融合の学び ➡ 教科等横断的な学び

各教科の学びを実社会での問題発見・解決に活かしていく

(2) 探究的な学び　➡ 目標は、積極的に社会に参画する態度

「課題設定」、「情報収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」のサイクルを発展的に繰り返すイメージ《総合的な学習の時間を軸に》

(3) STEM＋A（教養、リベラルアーツ）…芸術の共有、表現等の工夫

＊S：Science（科学）　T：Technology（技術）　E：Engineering（工学）

M：Mathematics（数学）　A：Arts（芸術）

３　教育課程特例・学習区分を意識させる学校行事等

（出典：小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引き）

(1) 教育課程特例：第１学年～第９学年に「たけの未来づくり科」を設置

(2) 学習区分

Ⅰ期（基礎期　１～４年）地域の人と触れ合い、地域環境の魅力を学ぶ

Ⅱ期（充実期　５～７年）背景にある歴史や自然を生かした産業等について学ぶ

Ⅲ期（発展期　８～９年）地域の魅力や課題、めざす未来像を発信する

「たけの未来づくり科」　単元一覧表（案）

学年	テーマ	学習内容（予定）
１年	竹野の四季	たけのきらり！きせつとあくしゅ
２年	町探検	町のすてき　大はっ見
３年	環境	自然とともに生きよう ～竹野のひみつを再発見～
４年	産業・文化	竹野おこし協力隊 ～竹野のお宝を伝えよう～
５年	防災	守ろう、ふるさとのいのちとくらし
６年	観光	竹野の魅力 再発見! ～竹野のよさを発信しよう～
７年	竹野町の活性化	竹野町活性化プロジェクトⅠ ―竹野の「自慢」を PR しようー
８年		竹野町活性化プロジェクトⅡ ―竹野の課題を明らかにし、課題解決に向けて提案しようー
９年		竹野町活性化プロジェクトⅢ ―竹野の「未来創造プラン」を創って提案しようー

＊実践しながら、PDCA サイクルでカリキュラムを更新していく

＊担当教員と保護者、地域住民等との意見交換などを通して、学習課題の充実を図る

特色あるカリキュラム「たけの未来づくり科」の取組

◎「ふるさと」とつながる自然、文化、歴史、産業、人等を教材として
◎ 各教科で学習したことを活用して

「探究的な学習」

課題設定 → 情報収集 → 整理・分析 → まとめ・発表

＊自分なりに日常生活や社会に目を向けて、地域の中から問題を探す

・地域の人材、企業等とともに学びを展開する

・学校だけではなく、地域や企業等に向けても成果を発表する

「竹野の活性化」の担い手を育てる

「たけの未来づくり科」単元一覧表（案）

学年	学習区分	テーマ	学習内容（予定）
１年	【基礎期】 地域の人と触れ合い、地域環境の魅力を学ぶ	竹野の四季	たけのきらり！きせつとあくしゅ
２年		町探検	町のすてき 大はっ見
３年		環境	自然とともに生きよう　～竹野のひみつを再発見～
４年		産業・文化	竹野おこし協力隊　～竹野のお宝を伝えよう～
５年	【充実期】 背景にある歴史や自然を生かした産業等について学ぶ	防災	守ろう、ふるさとのいのちとくらし
６年		観光	竹野の魅力 再発見！　～竹野のよさを発信しよう～
７年		竹野町の活性化	竹野町活性化プロジェクトⅠ ―竹野の「自慢」をPR しようー
８年	【発展期】 地域の魅力や課題、めざす未来像を発信する		竹野町活性化プロジェクトⅡ ―竹野の課題を明らかにし、課題解決に向けて提案しようー
９年			竹野町活性化プロジェクトⅢ ―竹野の「未来創造プラン」を創って提案しようー

○ １～９年生まで、ＳＴＥＡＭ教育の視点を学習活動に取り入れる。
○ 課題設定については、教員が主導するのではなく、**こども主導で設定**する。
自分なりに日常生活や社会に目をむけて地域の中から問題を探し、自ら課題を設定する。
○ **地域の人材、企業、大学生等と共に**学びを展開する。

※コミュニケーション教育…言語表現、身体表現等
※ＩＣＴの効果的な活用…他者参照　（ロイロノート等の活用）
　課題解決や情報発信（ＳＮＳ、Youtube 等の活用）
※英語教育…英語で学習内容を情報発信、観光客とコミュニケーション等

★特色あるカリキュラム「たけの未来づくり科」

① 策定までの流れ

○ 開設準備委員会、地域住民を交えたワークショップによる意見集約

・何を学ばせたいか

・どのような力をつけたいか

開設準備委員会からの提言

・「ふるさと」を題材とした「探究的な学習」

・従来の「ふるさと教育」を充実、発展 が望ましい

○ 市教委事務局、管理職の協議による方向性の決定と草案の作成

○ 各学年のカリキュラムの見直し

・系統性、地域とのつながりを重視する

○ 基本的な学習の流れの作成

② 今後の予定

○ 実践しながら、PDCA サイクルでカリキュラムを更新させていく

○ 担当教員と保護者、地域住民等との意見交換などを通して、学習課題の充実を図る

参考

ブロック制

	初等ブロック １・２・３・４年生	中等ブロック ５・６・７年生	高等ブロック ８・９年生
めざす姿	基礎基本が 身についた子	主体的に 取り組む子	学んだことを活かし 将来を見据える子
学び	学びの 基礎固め	学びの 確立・活用	学びの 探究・深化
自己形成	生活や学習の 土台づくり	自己肯定感の 高揚	キャリア形成の 充実
	学級担任による 学習指導	教科担任制を 一部導入	教科担任制
	45分授業	45分授業	50分授業
	たけの未来づくり科	各教科の学びを活かす(STEAM教育の視点) 人・地域とつながる ＩＣＴを活用する力を伸ばす	

中学校の入学式に相当する行事について

中学校の入学式に代えて、
竹野学園では

「後期課程進級式（7年生）」

を開催します

2025年度の日程・・・４月８日（火）（他の中学校の入学式と同じ日）
前日の始業式の日については、新７年生は休業日とする予定

ただし、４月７日は開校式典を開催する予定であるため、
出席については今後調整します。